

事例 16 ニホンジカ捕獲用小型囲いわな「こじゃんと1号、2号」の普及

(四国森林管理局 森林技術・支援センター、高知中部森林管理署)



- 高知県香美市(かみし)
- 協定調印式の様子

- 高知県香美市
猪野々山(いののやま)国有林
- 囲いわな「こじゃんと2号」の設置について説明する様子

四国森林管理局では、森林技術・支援センターが開発した、低コストで、軽量かつ組立てが容易な小型囲いわな「こじゃんと1号、2号」の普及に取り組んでいます。

高知中部森林管理署は、令和4年度に香美市及び香美猟友会と「香美市シカ被害対策及びジビエ活用推進連携協定」を締結し、この協定に基づき「こじゃんと2号」を貸し出してニホンジカの効率的な捕獲を推進しています。また、止めさしを容易にできる「こじゃんと2号」の特性を活かし、捕獲したニホンジカのジビエ利用を推進することとしています。

四国森林管理局では、平成29年に「こじゃんと1号、2号」を開発して以降、各種イベントなど様々な機会を捉えてPRに努めており、令和4年度までに、全国で341基が導入されています。